

編輯室の内外

本誌の改造に就いて内輪の意見を聴く爲に去月二十三日幹事會を開いた。名論卓説頻出したが結局現状維持で進むことに決定。現在の編輯振りに批難の出なかつたのは編輯子の満足する所、唯だ會費の徴收成績が頗る不良で一年間も會費を約めず購讀否なロハ讀して居る連中が尠くないのは甚以て痛心のいたり、本誌發行の事業固より營利的のものでないが、此セチ辛い時節にロハで送本することも出来ない、已むなく是等未納者に對しては送本を中止することに決定した、若し本誌が從來の如く手に入らなかつたときは會費不納の故と承知して貰いたい。

會費納付成績表を造つて編輯室の御隣にある内務省道路課の連中に示し之に關する

編輯室の内外

感想を求めたら、曰く道路行政の良否に關する成績と全く同一である、其の會費納付の成績は一面其の府縣の道路成績、否な道路主任官の手腕を表現したものと心得ば間違は無い、俺の所も亦其の眼で地方の主任官を眺めて居ると言つて居る。成績表作製の勞苦ゼロで無かつた。

現狀維持の方針で編輯して行くが新規を目論むことに就ては寸時も怠らない積りである、次號位から「交通事故批判」と「道路技術批判」との二欄を設くる見込、前者は交通事故を捉へ來つて其の原因結果を紹介し、責任者を指摘して事故防止を研究するのである、後者は道路管理者が施工した道路工事の計畫やら施工方法を幹事數名が批評して其の優劣に關し論議した問答の概況を登録するのである、或は工事擔當者に

對してはお氣の毒なことがあるかも知れないが、是も研究道程にある我國道路技術發達の爲に勸辨して貰ひたい(た)

本號定價 金五拾錢
(一ヶ年分 金六圓)

發行者 社關
法人道路改良會

編輯者 小島 效

印刷所 東京市小石川區諏訪町五二六
常磐印刷所

印刷者 堀江、關武